



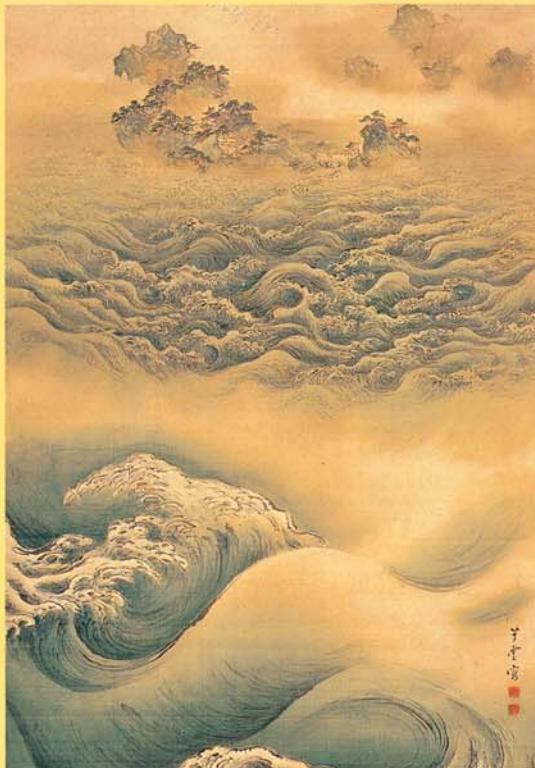
International Exchange Bulletin

とちぎ国際交流

第 28 号

1993年(平成5年)11月号
編集発行

(財)栃木県国際交流協会
Tochigi International Association
〒320 宇都宮市昭和1-2-16
栃木県自治会館1階・3階
TEL (0286) 21-0777(代)
FAX (0286) 21-0951
相談専用電話 (0286) 27-3399



►草雲美術館外観
蓬萊仙宮圖



▲富嶽圖



草雲美術館

足利市が生んだ幕末の勤皇画家である田崎草雲の遺作・遺品を展示した“草雲美術館”。草雲は国内での活躍はもちろん、明治26年に開催されたシカゴ世界博覧会で名誉碑を受領し、世界にも名を馳せました。

彼の優れた絵画(掛け軸)が展示されています。
 ▶観覧時間=9:00~16:00 ▶入館料=大人200円 中学生以下80円 ▶休館日=月曜、祝日の翌日、年末年始、館内整理日(毎月初日・末日)
 ▶住所・電話=足利市緑町2-3768(足利公園内)
 ☎0284-21-3808

—SOUN MUSEUM—

The late works and donated articles of Soun Tasaki, who was the regime's royal painter at the end of the Tokugawa Era, are now on display at the Soun Museum.

Soun received honorable prize at the Chicago International Exposition in 1893, and the Ashikaga-born painter won worldwide fame.

His great paintings(hanging pictures) are now displayed.

Open: Tuesday-Sunday

Closed: Every Monday, the day after the holiday, the end of the year, New Year Holidays and arranging days(every first and end of the month)

Hours: From 9:00 to 16:00

Entrance fee: Adults: 200 yen

Children (under Junior High School Students): 80 yen

Address: 3768-2 Midori-cho Ashikaga-shi
(inside of the Ashikaga Park)

Telephone: 0284-21-3808

今号の主な内容

- ★とちぎインターナショナルフェスティバル'93
カメラルポ……………P 2
- ★フランスから高校生が来県……………P 4
- ★栃木県と浙江省が友好提携調印……………P 6



▲ ブラジルのフォークダンス“クアドリア”を踊る県費留学生・海外技術研修員



原岡小学校マーチングバンドの
原岡小学校マーチングバンドを飾った宮



筑瀬小学校マーチングバンドに
よる華麗な演奏

▼ 婚礼衣装のジェーンさんとダミアンさん(ニュージーランドからのAET)。きっといい思い出になったでしょう!



あつまれ地球人! TOCHIGI とちぎ

快晴の秋空の下、9月26日(日)宇都宮市あけぼの公園で、第4回「とちぎインターナショナルフェスティバル」が財團法人国際交流協会と国際協力事業団の主催で開催されました。

メインステージでは、ネパール、インドネシア、タイ、ボリビア、ブラジル等の民族舞踊をはじめ、外国人による“花嫁衣装”

▼ 鮮やかな衣装で観客を魅了した“タイの踊り”



▲ ネパールからの技術研修員
パンゲニさんによる“ネパールの踊り”



▶ 会場内で広がる交流の輪



▶ 和服着付けコーナーで浴衣を試着した外国人の方に記念写真をプレゼント

INTERNATIONAL FESTIVAL'93

カナルポ

インターナショナルフェスティバル'93

の着装、また、県内外約30の民間国際交流団体のテントでは、活動報告、料理コーナー、ゲーム、民芸品販売やバザー、母国への無料電話、餅つきや野点等様々な企画を披露しました。

会場には、9,800人（外国人3,000人を含む）が訪れ、外国文化と日本文化を堪能し、国際交流の輪を広げました。

▼宇大留学生ヌルイダさんによるインドネシア舞踊



▲ボリビアの民族衣装を身にまとい素敵なステップを披露したラウラさんと、青年海外協力隊OGの高橋さん



▲ALT（語学指導助手）とCIR（国際交流員）によるダンス発表



本格派料理コーナーは大人気



▲習字にチャレンジ！みんなお上手です



▲ついたお餅はその場で試食



▲バレーボールとサッカーが
合わさった競技“タックロー”



▶大好評の
“外国人のため
のバザー”

後援 栃木県・栃木県教育委員会・栃木県市長会・栃木県町村会・
宇都宮市・宇都宮市教育委員会・下野新聞社・栃木新聞社・
栃木放送・NHK宇都宮放送局

協賛 効あしぎん国際交流財団・栃木県米消費拡大推進協議会・
株エーリスクエノ・カルピス食品工業株・国際電信電話株
(KDD)・国際デジタル通信株 (IDC)

協力 日本赤十字社栃木県支部



また来年
お会いしましょう！

リポートI

フランス・ヴォークリューズ県から5名の高校生が来県

栃木県と友好交流を続いているフランス国・ヴォークリューズ県。今年度から“日仏青少年短期研修事業”と称した高校生の相互派遣プログラムが開始され、10月20日～11月1日に、同県ミストラル高校から5名の高校生が来県しました。

足利南高校の体験通学では、日本の高校生と一緒に書道、そろばん、茶道、格技等の日本文化を



▲足利南高校での体験通学。初めての書道の出来ばえはこのとおり。(前列左から2番目は、ヴォークリューズ県議会のマソンさん)



▲5名のミストラル高校生。左から、ジヤン、マイル、オレリア、セバスチャン、ローラン。

学んだり、また、生徒宅でホームステイもしました。その他、県内・都内視察、“ふるさとマロニエフェア”のヴォークリューズ県コーナーへの参加、知事表敬等を行いました。初めて接した日本料理、生活習慣に多少戸惑いながらも、貴重な体験とたくさん思い出を胸に帰国しました。

来年の3月には、今度は県内の5名の高校生がヴォークリューズ県に行き、高校の体験通学や県内視察等を行います。今後も日仏間の若者による文化交流が続いていくことに期待いたします。

リポートII

栃木県友好訪問団が浙江省友好都市交歓会に参加

11月3日～7日、中国・浙江省で、“浙江省友好都市交歓会”が開催されました。この交歓会は、同省と友好関係にある世界各国（日本、イギリス、フランス、アメリカ、ドイツ、ブラジル、デンマーク他）の都市から友好訪問団を招き、郷土芸能や伝統芸能を披露し、友情を深めることを目的としています。

栃木県友好訪問団は、この時期に浙江省を訪問していた栃木県の他の訪問団と併せて26名で、栃木県交響楽団のホルン・パート9名による演奏や日光和楽踊り、八木節等を披露し、好評を得ました。シャングリラホテルで開催された観劇会では、萬学遠浙江省長も飛び入りで日光和楽踊りの輪の中に参加しました。

その他、各国代表が2チームに別れて運動会を行いました。これらの模様は、テレビを通じて北

京・杭州・香港等で同時放送されました。

来年の1月には、栃木県と浙江省の友好交流5周年を記念して、栃木県交響楽団員100名が同省杭州市を訪れ、クラシック・コンサートを開催します。今後ますます交流が進んでいくでしょう。



▲ハッピ姿で八木節を披露する、栃木県友好訪問団の皆さん(浙江省・シャングリラホテル劇場)

ようこそとちぎへ パトリシア・アイバーセンさん（23歳）アメリカ人



話の先生をしていました。

「私の大学は、カナダのモントリオールでした。専攻は東アジア研究で、文化や貿易を主に学びました。日本語は4年間やりました。私のクラスには約60名の学生がいまして、ほとんどが、留学生やJETプログラム等で日本に来ています。私も以前から日本に行きたいと思ってまして、福山市役所のCIRとして働いている友人がいるので最初は福山市に行きました。そして、今年の8月に

9月から栃木県国際交流課でCIR（国際交流員）の仕事をしているパトリシアさんは、アメリカ・カリフォルニア州のサンホセ出身。昨年10月来日し、広島県福山市に住み、英会

急に栃木県のCIRの話が決まり、こちらに来ることになったんです」

日本の第一印象はどうでしたかの質問に、「9月だったのでとても蒸し暑かったです。広島市の繁華街のネオンを見たときは、まるで映画の『ブレードランナー』のようでした」と笑いながら話すパトリシアさん。旅行が好きで中国・四国地方をいろいろ旅行したそうです。でも栃木県ではまだ日光しか見ていないとか。

現在の業務内容は英語への翻訳等で、徐々に通訳や他の仕事にも携わっていくとのことです。将来は大学院に進み、卒業後には国際貿易関係の仕事にも挑戦したいと話してくれました。

好きなスポーツは“アイスホッケー”で、モントリオールの大学でチームに入っていました。日本でも続けたいそうです。やる気満々のパトリシアさんの今後の活躍に期待します！

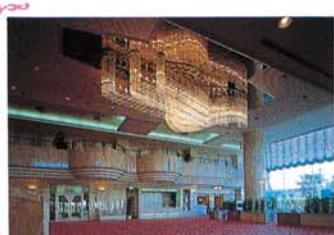
トピックス

県内の外国人留学生による球技大会

県内大学等の外国人留学生の親睦と交流を目的とした“外国人留学生球技大会”が、10月17日、宇都宮大学体育館で、栃木県地域留学生交流推進協議会と財団法人栃木県国際交流協会の主催により開催されました。

会場には約100名の留学生と関係者30名の計130名が集まり、ソフトバレーボール、バドミントン、卓球（硬式テニスは雨のため中止）の3競技に汗を流しました。初めての球技大会とあって、皆さんとても楽しそうでした。

また、終了後の懇親パーティーでは、スポーツを通じた交流の輪をさらに広げました。



センチュリーライフグループは
人生の大切な儀式をお手伝いします。

セレモニーホール

センチュリー

へいあん

宇都宮市鶴田町(平成・鹿沼インター通り沿い)
TEL 0286-48-1122 FAX 0120-48-1165

読者のひろば

◆モンゴル人女性との交流会に参加して

先日、外務省の招聘で来日し、日本語や日本の文化を学んでいる30代の女性3人とお話を機会に恵まれました。

恥ずかしい話ですが、それまでの私のモンゴルに関する知識といえば、中国とロシアに挟まれた遊牧民の国、蒙古族、チンギス汗程度のものでした。

当日、流暢な日本語で、にこやかに質問に答えてくれた彼女たちは、モンゴル人であると言わなければ、それと気づかぬほど日本人にそっくりでした。出席者全員が、30～40代の働く女性でしたので、話題はもっぱら女性の社会的地位、結婚、子育て、老人問題に集中しました。モンゴルでは、結婚して子供ができるからも仕事を続けることはごくあたりまえのこと、育児休暇も、希望すれば無給ながらも最長2年間はとれるとか。最近で

は、日本のように核家族化も進んではいるが、夫も積極的に家事に参加するなど、日本の女性にとってちょっとぴりうらやましい話も随所にきかれました。お互いの国の歴史、文化、生活について意見を交換し、とても貴重な時を過ごすことができました。

会が終わって部屋を出ようとしたとき、突然一人が私に歩み寄り、「あなたは私の友達にそっくりです。あなたの写真を撮って、国に帰ったら私の友達に見せたいくらい」と言いました。そのとき、つい昨日まで近くて遠い国、未知の国だったモンゴルと私との距離が、たちまちにして縮まっていくを感じました。

きっといつか訪れて、共通の祖先を持つであろう友人たちと語り合ってみたい、大草原に佇んで遙か太古に思いを馳せたい…今はそんな思いでいっぱいです。 (宇都宮市・高橋良子)

(宇都宮市・高栖良子)

トピックス

栃木県と中国・浙江省が正式な友好提携に調印

10月13日、栃木県公館で、栃木県と中国・浙江省が正式な友好提携を結ぶ調印式が行われ、渡辺知事と萬学遠省長が協定書に署名・交換しました。1986年1月に交流を始めて、7年間友好交流を続けてきて、この度浙江省からの一団を迎えての、両県省の正式調印となりました。

協定書には「経済、文化、科学技術などの分野で積極的な交流と協力を行う」と明記されています。記者会見で萬学遠省長は、農業と工業の分野で本県からの投資等を期待していることを話されました。

人口約4千3百万人、日本の関東、中部地方

を合わせた広さをもち、優美な自然と優れた農業力を有する浙江省との交流・協力が、今後ますます発展していくことでしょう。



友好提携調印後、握手を交わす萬
学遠浙江省省長（左）と渡辺文雄板
木県知事

CHOYODDO TOTAL PRINTING

近未來・21世紀に向けて



朝陽堂印刷興業株式会社
〒320 宇都宮市不動前1-3-35
TEL 0286(34)3421 FAX 0286(51)1129

未来を もつと語りたい

国際交流Q & A

〔永住と帰化〕

Q. 日本人と結婚した外国人ですが、永住と帰化はどのように違うか教えていただきたい。

A. 永住が許可されると、在留期間や在留活動に制限がなく日本に住むことができるようになりますが、日本国籍は取得できません。相談者の場合、出入国管理及び難民認定法における在留資格の一種である「永住者」への資格変更申請をし、審査の結果永住が許可されます。

帰化とは、日本国籍を取得すること、つまり日本人になることです。最低限の条件として、日本に最低5年住むことや素行が善良であることなどがあります。帰化を希望する場合は、申請書類とその他必要書類を最寄りの法務局の窓口に提出して許可を受けます。帰化の必要書類等詳しくは、最寄りの法務局にご相談ください。

News 国連中学生作文コンテスト 高校生主張コンクールが開催

第33回国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテスト栃木県大会が9月14日に、また第40回高校生の主張コンクールが10月9日に開催されました。中学生作文コンテストでは、突然訪ねてきたインドネシア青年との交流を描いた、氏家町立氏家中学校3年の手塚沙千さんが最優秀賞に、高校生の主張コンクールでは、近所に嫁いできたフィリピン人女性との触れ合いを語った、真岡女子高校2年の大畑美優紀さんが最優秀賞に輝きました。その他の受賞者は次の通りです（敬称略）。

〔作文コンテスト〕 優秀賞／野中洋子（鹿沼市立北犬飼中学校1年）・田辺さや佳（栃木市立栃木東中学校3年） 努力賞／荒川美千代（矢板市立矢板中学校2年）・鈴木雅恵（氏家町立氏家中学校3年）・岩田京子（真岡市立真岡西中学校3年）

〔主張コンクール〕 優秀賞／矢口侑里（宇女高3年）・大谷あす香（宇短付高2年） 努力賞／今井麻希子（宇女高3年）・菊地恭子（宇女高3年）・斎藤美枝（小山南高2年）

News

青年海外協力隊員秋募集

アジア、アフリカ、中近東、中南米、オセアニア、東欧等の人々のために、技術を伝える“青年海外協力隊”。昭和40年の発足以来、すでに59か国へ13,000名を越える青年が隊員として活躍しました。皆さんも国際的なボランティアに挑戦してみませんか。

▶応募資格＝20歳～39歳まで ▶応募方法＝所定の願書（TIAにあります）を11月30日までに協力隊事務局へ提出 ▶選考試験＝平成5年12月19日(日) ▶派遣期間＝2年間 ▶待遇等＝現地生活費／月額270～700ドル（国によって違う）が支給。その他、無職で参加の場合、1か月99,700円が積み立てられ、帰国後に一括支給される。現職参加の場合、休職等で所属先に身分を残したまま協力隊に参加できる場合もある。 ▶募集規模＝約160種、約1,000名を募集

※詳しくはTIA協力隊係まで☎0286-21-0777

協会日誌（1993.10.1～1993.11.30）

- 10/6 日仏青少年短期研修事業実施委員会
(自治会館)
- 10/9 国際理解・国際協力のための高校生主張コンクール栃木県大会（栃木会館）
- 10/12～16 浙江省政府友好訪問団来県
- 10/13 浙江省との友好提携調印式（県公館）
- 10/15～29 海外協力隊パネル展示（県政コーナー）
- 10/18～11/16 青年海外協力隊秋募集説明会（足利市・大田原市・小山市・真岡市・宇都宮市）
- 10/19 栃響中国派遣第3回実行委員会幹事会合同会議（県公館）
- 10/20～11/1 仏国ヴォ県ミストラル高校生受入
- 10/20～11/4 栃木県海外移住者激励訪問団派遣（ブラジル、アルゼンチン、メキシコ他）
- 10/24 在伯栃木県人会35周年学生寮落成記念式典
- 10/26～11/2 浙江省林業代表団受入
- 11/7 国連・英語検定第一次試験（作新学院）
- 11/21 アジアの夕べ（フィリピン編）
(石橋勤労体育センター)

第III期日本語講座開講

在県外国人を対象とした、初級程度の日本語講座を次のとおり開講いたします。

▶期間=平成5年12月8日～平成6年3月30日
(毎週水曜日) 午後6時～8時(全16回、
ただし12月29日は休講)

▶場所・定員=TIA 3階研修室、20名

▶受講料=無料(ただしテキスト代は実費)

*問い合わせは☎0286-21-0777 TIA日本語講座係へどうぞ。

～T.I.A “Japanese Class”for foreigners～
The Beginner’s Japanese Class for foreign
residents in Tochigi prefecture will be held as
follows;

DATE: From December 8, 1993 to March 30,
1994.

(Every wednesday)

TIME: 18:00～20:00

PLACE: The Tochigi International Association (3 fl.) We accept up to 20 students. Tuition fee is free; however, the students have to buy a textbook(A textbook costs about 2,600 yen).
※For more information, call T.I.A at 0286-21-0777

新刊図書案内(9～10月購入) Newly-arrived BOOKS

- ▶いざというときの手続きハンドブック／P.H.P研究所
- ▶わかりやすい国籍法〔新版〕／有斐閣
- ▶世界の都市の物語(パリ、ニューヨーク、バルセロナ、イスタン布尔、ローマ、ロンドン、ソウル、ウィーン、北京、カイロ、モスクワ、東京)／文藝春秋
- ▶日本人の英語／岩波書店
- ▶会話を楽しむ／岩波書店
- ▶在日外国人／岩波書店
- ▶スシとニンジャ／講談社
- ▶バハオラ／株式会社マルジュ社
- ▶ひとりだちへの旅／筑摩書房
- ▶ヌキのいない旅／財大同生命国際文化基金
- ▶国際儀礼に関する12章／財世界の動き社
- ▶出入国管理／法務省入国管理局編集
- ▶翻訳辞典'93／株式会社アルク
- ▶もっと知りたい浙江省／静岡新聞社
- ▶ことばを歌え！こどもたち／筑摩書房
- ▶労働基準法(上・下)／財労務行政研究所
- ▶創る TSU-KU-RU／栃木県土木部建築課
- ▶子育てのコミュニケーション／社会福祉法人全国社会福祉協議会
- ▶米国の地域レベルの日本関連活動(Vol. 1)／国際交流基金日米センター
- ▶国際社会と留学生の役割／財団法人名古屋国際センター
- ▶高校留学の手引き／株式会社ぎょうせい
- ▶創立30周年記念誌／社団法人日本海外移住家族会連合会
- ▶舞台芸術交流年鑑'90／国際舞台芸術交流センター

編集後記

○今年の“とちぎインターナショナルフェスティバル”は珍しく雨や台風の心配をしないでみました。自然の神に感謝！来年もよろしく！！

メインステージで行ったブラジルのダンスには実はTIAの男性スタッフ2名(S&U)が入っていました。いや～楽しかったなあ。来年もどこかに紛れて出ちゃおうかな…なんて思ってます。

○発展途上国で技術を教える“青年海外協力隊”。近年、女性の希望者が増えております。時代なんでしょうかね。国際協力の形としては、技術供与がやっぱり一番！と考える若者にとって、とてもやりがいのあるボランティア活動ですよ。

●ご案内図



*財団法人栃木県国際交流協会では、各企業・団体からのご出捐をお願いしております。当協会の事業にご賛同下さるみなさまのお力添えをよろしくお願い申し上げます。